

銀漢亭日録



伊藤伊那男

8月20日(火)▼カウンターが賑わうのみ。二十二時、閉めて餃子屋で小酌。昨日から家族沖縄へ夏休み。
21日(水)▼「三水会」五人。閑散。
22日(木)▼「銀漢句会」あと十六人。
23日(金)▼「金星句会」あと三人。
24日(土)▼十三時半、九品仏駅集合。「總句会」十人。九品仏、楸の墓参りなど。歩いて東京工業大学。谷岡健彦さんの世話で教室を借りて句会。あと商店街の中中華屋料理にて親睦会。
25日(日)▼終日家、選句。酒抜く。昼寝。テレビ。
26日(月)▼店、閑散。仕込みに終始。家族沖縄から戻る。
27日(火)▼ひまわり館に「萩句会」選句。あと暑氣払いに十七名が来て下さる。「ひまわり句会」あと七人。今井肖子、西村麒麟さん他、若手句会のあと七、八人。
28日(水)▼「離句会」十四人。三井康有さん京都から。明日の仕込み。二十二時閉める。橋野幸彦さんお嬢さんと。
29日(木)▼水内慶太さん「水の盃」出版を祝う会。「月の匣」の方々。銀漢亭仲間五十数名集まる。清人さん、気仙沼の牡蠣、海鞘など持ち込む。慶太さん、「すし屋の弥助」から棒寿司十本他。その他、差し入れ沢山。
30日(金)▼「閨句会」七人。あとは閑散。
31日(土)▼九時、新宿発あずさ号。茅野駅下車、信州伊那那井月俳句大会に併せて諏訪吟行。マイクロバスにて出発。二十四人。茅野の會員、峰谷さん参加。神長守矢史料館、前宮、上社を巡り、下諏訪へ。万治の石仏。春宮、御柱の木落とし坂。秋宮を巡り、伊那谷へ。「角八」にて親睦会。伊那の坂下昭さん来て下さる。いつものラーメン店に寄り、「ホテルセンビア」投宿。
9月1日(日)▼午前中、三つほどの吟行コースを設定したが、私は遅い出発の伊那那宿巡り。九時半発。伊那那街道沿いの宿場。天狗党

北高校後輩代田さん(月野ぼぼなの同期)。寺沢和雄、阪西敦子さん、閑散にて皆で雑談。
10日(火)▼大阪の俳人協会での講演レジメ、播厂事務局長へ送る。店「火の会」九人。全体閑散。
11日(水)▼発行所「梶の葉句会」選句。鶴巻貴代美さん五人。硯児さんと話。毎日新聞の森さん三人。清人、羽衣衣、近恵さん。二十二時閉める。
12日(木)▼店、井上井月顕彰会の面々集合。来春の「井月忌の集い」の打ち合わせ。店、「白熱句会」。曾山哲彦、佐賀賀正美、木暮陶句郎、小山徳夫、藤田直子さん。厨房にいて、ほぼ参加できず。同時に「極句会」あり、十五名ほど。
13日(金)▼「写真とコトノハ展」の最終日。十九時より幹事の倉田さん他十二人の打上げ会。二十一時より入れ替わりに「大倉句会」あとの二十五人ほど。皆川文弘さん。
14日(土)▼十時、運営委員会。十三時、麴町会館にて「銀漢本部句会」。五十九人。あと中華料理店にて親睦会。帰宅して娘夫婦と四方山話。
15日(日)▼十四時過ぎ、京都着。阪急電車。洛西口下車。物集女街道に出て物集女城跡、物集女車塚古墳を見て、野村證券明生寮跡へ。四十八年前に入居。二年程いた思い出の地。今は大きなマンションに。向かいの竹内理髪店は今もやっていて、散髪して貰う。御主人は十年前逝去と。夫人は七十五歳になると。何とも懐かしい。町に戻り、寺町京極の「スタンド」。生ずしと小芋で小酌。十六時。「しん」。ぐち、赤身、万願寺。「六曜社」でコーヒー。二十時過ぎ、祇園の麻利子さんの店。伊那北高校の同期が寄る店。「相鉄フレッサイン」泊。
16日(月)▼ホテルでゆつくり。十時「高木珈琲」でモーニングセット。最近はこの気が入っている。電車で亀岡へ。大本教の「天恩郷」がある亀岡城跡を見学。みろく会館ギヤラリーで大本教の歴史などのビデオを見る。亀岡城下を散策。二条駅に下車し、神泉苑を覗くなどしながら町中へ。「イノダコーヒ三条支店」で休憩。うとうと。遊び疲れか。「たつみ」「スタンド」とB級ゲル

の通過に昼食を提供した歴史あり。突き当たりの春日城跡は初めて訪ねたが実に見事。織田軍に滅亡したが、今も城址を保っているのに感嘆。十三時、「いなっせ」の信州井月俳句大会へ。竹入弘元先生(高校の恩師であり井月研究第一人者)がわざわざ私を訪ねて来て下さる。今年に入ってすっかり弱ってしまい、文字を読めなくなつた。「銀漢」誌を楽しみにしていたが、読めないの下で、贈呈はこまめと。基金戴く。その為だけに奥様の運転で来て下さつたのである。事前投句の選評。親睦会。あと「門」にて少々飲み、飯田線、あずさを乗り継いで二十一時半帰宅。孫の怜輔、大阪城ホールの「おかあさんといっしょスペシャルステージ」、二公演終えて帰宅。
2日(月)▼家族、今日から北海道旅行と。歯科。内科と巡る。八月の店の月次表作成。
3日(火)▼大阪の俳人協会での講演資料作成。店、閑散。
4日(水)▼「ささらぎ句会」あと五人。「宙句会」あと九人。
5日(木)▼「環順子さんと「パティオ」の仲間四人。「十六夜句会」あと十二人。
6日(金)▼閑散。大阪の凌雲、茅野の峰谷さん来店。家族北海道から帰宅。
7日(土)▼終日家。休養日。十一月の諏訪での講演会の構想練りながら、寝たり起きたり……。十八時半くらいから打上げ花火の音がしきりに聞こえ、いたたまれず、音の方へ。駅の南側。不動橋に人だかりあり、ここから調布の花火大会が眺望できる。久々の花火。見事。多彩。三十分程見とれる。戻って鶏のステーキ。焼茄子、若布と胡瓜のサラダ、鯉のうま煮等で家族揃って夕食。担当私。
8日(日)▼成城仲間の山口敦子さん逝去。弔問す。四十七歳は悲しい。村上喜代子「軌道」評。角川「俳句」十一月号へ四枚ほど。夜、家族揃って鶏鍋、若布と大根のサラダ、蛸刺など。担当私。台風襲来。
9日(月)▼昨夜の台風で家のオリブの木が倒れ、歩道を塞いでいる。店、ずっと関西で暮らしていたという石動敬子さん。伊那

メに寄り、今日はそこまで。早々にホテルに帰る。
17日(火)▼十一時、大阪北浜に着く。近くに朝食屋。大阪は右も左も解らない。大阪ホールにて、俳人協会関西支部の講演会。一部の前田攝子さんの近江の季語について聞く。二部が私。「井上井月に見る酒と食の季語」について一時間十分講演。あと「懐い古や」にて親睦会。講演には「春星句会」の皆さん聞きに来て下さり、親睦会にも。あと、茨木和生先生、朝妻力さん、田中春生さんを始め、二十名ほどで茨木の朝妻力さん行きつけの「庄助」さんへ。何と、河豚料理一式用意あり。二十二時過ぎまで歓談。ホテルクレストいばらき投宿。
18日(水)▼九時半、ホテル出て、新大阪。構内で茶漬の朝食。十四時、東京に戻り、そのまま店に入る。
「三水会」七人。後輩の代田さん、たまたま来店して、加わる。駒ヶ根の先輩、今井さん久々来店されて加わる。そこへ、駒ヶ根商工会議所会頭山浦会長(ヤマウラ社長)他、会議所の面々六名が上京したとて寄って下さる。わざわざ店を捜して来て下さったのである。二十二時半、閉めて、今井さんに誘われて、「クラインブルー」へ。今井さん、八十三歳というのにお元氣。
19日(木)▼広島の大村さんをお囲む会とて宗一郎、黒岩さん他七人ほど。宗一郎さん還暦。「銀漢句会」あと十人。入沢さん四人など。
20日(金)▼発行所、「萬句会」。あと店へ九人。そのあとは閑散。ラグビーワールドカップ、日露戦の為か。二十一時、閉店す。帰宅すると成城仲間のくみちゃん来ていて一緒に歓談。
21日(土)▼十三時半、品川駅構内「十六夜句会」「大倉句会」の品川合同吟行会にゲスト参加。構内の郵便ポスト、ゴジラ記念印などを見て、旧東海道品川宿へ。いづみさんの案内見事。品川寺まで、五句出し句会と懇親会。更に大井町まで歩き、酒場街へ。二次会。